

令和5年度新産業戦略PTの 進め方について

令和5年5月29日
新産業戦略PT事務局

1. 前年度からの主な見直し

- 議論をオープンにし、関係者の理解を深め、連携強化を図るため、原則公開でPTを開催。
- PTは「重点的検討課題」について、その課題克服のための「重点的取組み」検討の議論に集中（アクションプランの検証については県で実施し、PTへ報告）

2. KPIの振り返り

【新産業戦略のKPI i (R4～)】

- カーボンニュートラルやSDGsなどの世界的な潮流も見据えて、県内企業のDX・高付加価値化により収益力を高め、製造業における付加価値率の全国上位を実現

【背景・考え方】

- ・DXの推進やカーボンニュートラル、SDGsなどの世界的な潮流を先取りし、国際標準に準拠した付加価値の高い製品を開発・製造することにより競争力の維持・強化を測る指標として、製造業の付加価値率をKPIとする。
- ・本県の付加価値率は36.1%で全国12位（2020年度、上位10都道府県の平均39.0%）となっているところ、全国上位を目指す。

【補足】産業分野におけるカーボンニュートラルやDXの進捗については、県DX・働き方改革推進アクションプランのKPIや、R4年度中に策定される県カーボンニュートラル戦略での目標の達成状況を注視していく。

2. KPIの振り返り

【新産業戦略のKPI ii (R4~)】

- 新たな製品・サービス、企業、市場の創出により、
県民1人あたりの県内総生産を年約2%増加

【背景・考え方】

- ・ 「生産総量の増加（減少）」については、県内総生産で測ることができるが、人口減少傾向が続く中では、その総額で新産業戦略の取組みを評価することはできないことから、一人当たりの県内総生産をKPIとする。
- ・ 直近5年間（2014~2019年）の本県の実質県内総生産の平均伸率である約1.8%（全国平均は0.9%）を上回る、約2%の上昇を目指す。

3. 検討テーマ（令和6年度に向けた重点的検討課題）について

【趣旨】

社会経済変化が激しく国際標準化が進展する潮流の中で、ヒト・モノ・カネが集まるウェルビーイング社会の実現に向けて富山県に新しい価値を生み出すための産業施策を検討。

- ・ 選択と集中により、効果的な検討と施策立案につなげるため、テーマを絞り込んで議論。（新産業戦略PTは2テーマを予定）

3. 検討テーマ（令和6年度に向けた重点的検討課題）について

【テーマ①】

ESG（環境・社会・ガバナンス）など国際標準化時代に対応するための取組み

県内企業の経営者や従業員等のウェルビーイング向上に向けて、国際標準化に対応した脱炭素経営、SDGs経営の推進やサプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの取組みについて検討

【テーマ②】

クリエイティブな発想で新しい価値を生み出す人材の育成・集積・活用

社会経済変化が激しく、国際標準化が進展する潮流の中で、ウェルビーイング社会の実現に向けて「クリエイティブな発想で富山県産業に新しい価値を生み出す人材」をどう育成・集積・活用していくかについて検討。

3. 検討テーマ（令和6年度に向けた重点的検討課題）について

県内企業への浸透によるウェルビーイングの向上

【課題】

検討結果の県内企業への浸透をどう図るか

【対応】

P Tの議論・検討内容を個々の企業の取り組みに落とし込む方策として、今年度別途改定予定の「富山県ものづくり産業未来戦略」等に具体的な施策として反映させていく。

経営者や従業員等のウェルビーイングを向上し、企業の魅力を高めることにより、若者や女性をはじめとした多様な人材を呼び込む

4. 検討の進め方

○テーマに関わるサブテーマをいくつか設定

【サブテーマ（例）】

- ・ 中小企業におけるSDGs 経営のインセンティブとは？ (テーマ①)
- ・ 川上産業（機会、電子・電気部品の製造企業等）におけるクリエイティブな発想の必要性とは？ (テーマ②) など

○サブテーマに関して、自由闊達にご議論いただく （トークセッションのようなイメージ）

○ご議論いただいた内容を踏まえて、令和6年度の 重点的な取り組みの方向性を決定します。

5. 検討スケジュール

5～6月頃

① 「重点的検討課題」の洗い出し【PT】

- ・各テーマを進めるうえで、行政や事業者などが抱える課題のうち、R5に重点的に検討すべきものを洗い出し



7～9月頃

② 「重点的取組み」の検討【PT】

- ・①で洗い出した課題を解決するための取組みを検討



10～2月頃

③ 施策の検討【県】

- ・②の取組みを具体化するための施策を検討

※令和5年度は集中的に討議を行うため、テーマ別に委員が分かれて議論

6. 参加委員について

テーマ①国際標準化時代に対応するための取組み

藤井座長はじめ数名

+新たに、県機電工業会から1名に就任依頼

テーマ②クリエイティブ人材の育成等

藤井座長はじめ数名

+新たに、クリエイティブ人材や県産業界の実情に詳しい方に就任依頼

※①②ともに、必要に応じて、オブザーバーとして県内企業等を招へい

7. 全体スケジュール

	成長戦略会議	PT	備考（県）
5月		第1回会議 →「重点的検討課題」の洗い出し、 深掘り（テーマ①）	R4アクションプラン検証
6月		第2回会議 →「重点的検討課題」の洗い出し、 深掘り（テーマ①②）	
	第1回会議(6月下旬) →各戦略の「重点的 検討課題」を報告		
7～9月		第3回/第4回会議 →「重点的取組み」の検討 （テーマ①②）	
10月			カンファレンスで各戦略の 「重点的取組み」を発信
11～1月	第2回会議 →R5の各戦略の取組 状況を報告	「重点的取組み」を踏まえて、県でR6アクションプランをとりまとめ （随時、各PT委員と連携）	
2～3月	第3回会議 →R6アクションプランを 報告		
		(県からPT委員へ、 R6アクションプランを報告)	R6アクションプランの公表 (2月中旬)